

▶ 今号の内容 ◀

- わが同盟の82春闘方針 … 1~4面
- マルクス・レーニン主義
- 学生同盟（準）結成す … 8面
- リムバッカ82粉碎へ（5面）解説・改憲問題（7面）その他

1982年
2月10日
第8号
(通巻56号)
8頁 250円

赤旗

共産主義者同盟中央機関紙

発行所 赤路社

編集・発行人 北沢 晋
東京都大田区大森北1-13-11
電話 03(766)4729
郵便振替 東京7-86947

関西赤路社 大阪市福島区大開1-19-13副島ビル
電話 06(462)7030

毎月10日、25日発行
1980年2月28日
第3種郵便物認可

定期購読料
1部・22回
手渡し 3000円
開封郵送 3500円
密封郵送 4000円

反戦・反安保・逆行革、三里塚二期着工阻止、刑法改悪阻止、82春闘勝利！



第6回全国労働者討論集会(1月30~31日・大阪)

82春闘は史上三度めの「激動に向つており、第三次世界帝国主義戦争の危険と政治代理人・自民党政府はこの世界情勢にも規定され、対ソ世界大戦・朝鮮侵略反革命戦争に即応できる「戦争遂行国家」体制の完成をもたらす。現在、世界は全世界的規模で後退を画する新たな動き進んでいる。

I 82春闘の位置と意義

わが同盟の82春闘方針

II 82春闘をめぐる情勢の特徴

82春闘は史上三度めの「激動に向つており、第三次世界帝国主義戦争の危険と政治代理人・自民党政府はこの世界情勢にも規定され、対ソ世界大戦・朝鮮侵略反革命戦争に即応できる「戦争遂行国家」体制の完成をもたらす。現在、世界は全世界的規模で後退を画する新たな動き進んでいる。

社会主義労働運動の発展を

III 82春闘の重点について

82春闘は史上三度めの「激動に向つており、第三次世界帝国主義戦争の危険と政治代理人・自民党政府はこの世界情勢にも規定され、対ソ世界大戦・朝鮮侵略反革命戦争に即応できる「戦争遂行国家」体制の完成をもたらす。現在、世界は全世界的規模で後退を画する新たな動き進んでいる。

めざし、政治・経済・社会の全分野にわたる大再編に走っている。彼らは、八十年代戦争遂行体制の一定の完成を自ら「八五年体制」とよび、この「新しい政治システム」の橋頭堡をつかむため「八三年政治決戦」へ大きく動きだしている。

日本共産党は、社公民とは相対的に左のポーズで彼らとの分歧をつくり「左派」性を堅持しているが、

めざし、政治・経済・社会の全分野にわたる大再編に走っている。彼らは、八十年代戦争遂行体制の一定の完成を自ら「八五年体制」とよび、この「新しい政治システム」の橋頭堡をつかむため「八三年政治決戦」へ大きく動きだしている。

日本共産党は、社公民とは相対的に左のポーズで彼らとの分歧をつくり「左派」性を堅持しているが、

めざし、政治・経済・社会の全分野にわたる大再編に走っている。彼らは、八十年代戦争遂行体制の一定の完成を自ら「八五年体制」とよび、この「新しい政治システム」の橋頭堡をつかむため「八三年政治決戦」へ大きく動きだしている。

日本共産党は、社公民とは相対的に左のポーズで彼らとの分歧をつくり「左派」性を堅持しているが、

第六回全国労働者討論集会は、一千三百余名の戦闘的労働者を結集し、「反転の旗」を高々とかげた。その第一は「階級的労働組合運動の行動綱領づくり」と「闘う労戦連」の形成である。第二は「ボランティア連帶」に連帶する決議と、当面する政治闘争の共同課題として「リムバッカ82阻止」、「日韓首脳会談粉碎」そして「三里塚二期着工阻止」の採択である。

本集会は、昨年第五回集会で決議した「一つの政治的・組織的部隊として大胆に一步踏みだそう」——それは、昨秋の右翼的労戦統一反対の闘いのなかで「第四の流れ」を生みだした——を、いつ形あるものへと育てあげていくために、重要な任務をもつっていた。

その任務は、集会全過程を通じて確認された第一の点によって明確にされた。

いま社共一総評ブロックの分解・崩壊・再編が効果的・組織的飛躍をこそ問うてゐるのである。

形成はこのことに自觉的であるとともに、社会主義から主張の「行動綱領づくり」「労組連」の側へ労働者階級の多数を獲得する観点から行なわなければならない。今春闘はその第一歩であり、大胆に共同行動にふみだす好機である。「われわれの春闘」とはなによりもこのことを示す。

さらには、われわれは階級的労働組合運動の再生をめざす闘いの任務の一つに、政治闘争をすえきつていたしかに、現在の日本帝国主義の危機の深さから

日帝打倒・米帝一掃の旗高く

任務をもつていた。

その任務は、集会全過程を通じて確認された第一の点によって明確にされた。

いま社共一総評ブロックの分解・崩壊・再編が効

果的・組織的飛躍をこそ問うてゐるのである。

形成はこのことに自觉的であるとともに、社会主義から主張の「行動綱領づくり」「労組連」の側へ労働者階級の多数を獲得する観点から行なわなければならない。今春闘はその第一歩であり、大胆に共同行動にふみだす好機である。「われわれの春闘」とはなによりもこのことを示す。

さらには、われわれは階級的労働組合運動の再生をめざす闘いの任務の一つに、政治闘争をすえきつていたしかに、現在の日本帝国主義の危機の深さから

解放への道をつくりだすことではできない。情勢はむしろ、こうした左翼反対派政治、急進民主主義からの主体的飛躍をこそ問うてゐるのである。

それ故、われわれの「行動綱領づくり」「労組連」は、このことに自觉的であるとともに、社会主義から主張の「行動綱領づくり」「労組連」の側へ労働者階級の多数を獲得する観点から行なわなければならない。今春闘はその第一歩であり、大胆に共同行動にふみだす好機である。「われわれの春闘」とはなによりもこのことを示す。

さらには、われわれは階級的労働組合運動の再生をめざす闘いの任務の一つに、政治闘争をすえきつていたしかに、現在の日本帝国主義の危機の深さから

して労働者大衆の一つの経済闘争が、大きな政治闘争へ転化する可能性をひめているといえる。そうであればあるほど、われわれは労働者階級の政治意識を帝國主義の側へではなく、また「平和と民主主義」の社会排外主義によつてもらることでもなく、大胆に日帝打倒・米帝一掃・プロ独樹立へとみがきあげ、組織せねばならない。

い。

戦後二十年間も続いた「高度成長」——相対的安定期を帝國主義の側へではなく、また「平和と民主主義」の社会排外主義によつてもらることでもなく、大胆に日帝打倒・米帝一掃・プロ独樹立へとみがきあげ、組織せねばならない。

あればあるほど、われわれは労働者階級の政治意識を帝國主義の側へではなく、また「平和と民主主義」の社会排外主義によつてもらることでもなく、大胆に日帝打倒・米帝一掃・プロ独樹立へとみがきあげ、組織せねばならない。

あればあるほど、われわれは労働者階級の政治意識を帝國主義の側へではなく、また「平和と民主主義」の社会排外主義によつてもらることでもなく、大胆に日

安保、賃上げの82春闘を

労働組合運動の再生をめざそう

わが同盟の82春闘方針

(一面からつづく)

びこえ地域、産別をこえた労働者の階級的統一行動によつて、自分たちの経済的諸要求を獲得しようといふ行動をうみだしている。

これは労働者階級の利益にかなつた活動である。今や生活危機による労働者の不満と怒りは頂点に達している。これは、共産主義と労働運動を結合する見地から、党と労働組合の結合を開いたる見地から有利な条件の拡大である。

帝国主義の危機の中で、すでに労働者階級の一部を金融独占資本は旧来どおり養うことができなくなつており、労働者の生きがための闘争はますます現実性をおび、ますます先鋭に大規模に、不可避に進まさるべきえない。

労働者階級は自らの力で非和解的に闘う以外に活路はない。この時代、労働者の経済闘争さえ急速に政治

われわれの春闘にむけて

(1) 82春闘は労働者の生

活危機打破をめざし、実質生活の維持・向上として賃上げ、減税、反対、雇用等

上げは「準備会春闘」と結論からいえば断じてそ

うではない。

「準備会春闘」は明確に「管理春闘」「体制春闘」として労働者の決起をおさえつけ、階級闘争を否定し、労働者を低賃金と長時間労働の労働監獄にしばりつけ、他民族の抑圧・殺戮のた

め帝国主義戦争のせん兵となる労戦の現代版産報化に導く路線である。

I 82春闘の位置と意義
II 82春闘をめぐる情勢の特徴

国際・国内情勢の特徴

微略(赫旗)七号

参照一部日本労働者階級の状況

III 関争の重点について

昨年十一月、82国民春闘

同盟・JC、総・県営

「基本構想」にもとづく

的基礎

を右から再編しよ

攻撃が82春闘を「準備会」

階級的労働組合運動の再生



労戦の産報化と対決し階級的

わが党は、82春闘をめぐる情況に対しこのような基

本見地に立ち、労働者の生

活危機、労働条件の悪化、

貴族どもの牛耳る組合でね

ぱり強く労働者の利益を守

り、諸要求の実現を達成す

るため闘うと同時に「われ

われの春闘」の活動を支持

し、と共に闘うものである。

日本労働者階級の組織労働

者を中心とする82春闘に対

し、以下の意義を明らかに

し82春闘にのぞむ。

う労働貴族どもに春闘を開闢あり、賃上げとひきかえに

う意志は全くない。82国民

合理化を容認する労働運動

他方での戦争準備・政治反

動の強まりの中で闘われる、させたものでしかない。同

日本労働者階級の組織労働

者を中心とする82春闘に対

し、以下の意義を明らかに

し82春闘にのぞむ。

春闘をめぐる二つの道」と

春闘は終えんしている。

いまわれわれは、この根本

の意識をめざす必要がある。

だから、統一労組懇が「

前れ」大企業の利益還元」

を柱とした「国民春闘路線

の再構築」路線も、結局は

内日の日和見主義・改良主義

春闘共闘委の「9%賃上げ

の争いではない。

この時代にあつては労働者

の右翼的統一との攻防を環

の争いではない。

この時代にあつては労働者

の右翼的統一との攻防を環

の争いではない。

この時代にあつては労働者

の右翼的統一との攻防を環

の争いではない。

「準備会春闘」打破し 全国の工場・地域で

反戦・反

(二面からつづく)
社会主義の宣伝・煽動を大

的多数の労働者をひきはな
し、未組織労働者を組織化

主義の側に組織する。

II 82春闘をめぐる情勢の特徴

— (略) —

【赫旗】7号参照 「日本労働者階級の状況」のみ掲載

日本帝国主義のアジア・朝鮮など新植民地支配の強化と、国内での、一方での産業構造の再編・重化学工業における過剰資本の整理と航空宇宙産業、原子力産業、電子工業産業等、先端・軍事産業へのおきかえ、中小企業の統廃合、他方での労働者に対する低賃金、強搾取、収奪は労働者階級の階層変化と労働者階級の状態の相対的・絶対的悪化をもたらしている。

合理化の嵐

(1) 大企業の本工の人べ

らし、合理化の強行。七五

年の恐慌時は下請、社外工労働者の切り捨てによつて金融資本は危機を引きつきたが、今日の特徴は本工までを対象とした「減量経営」が強行され、いざん進行していることであ

る。

これは、相対的に高賃金を占める中高年層を中心として、関連企業への出向、派遣、配転、希望退職、あるいは指名解雇等々として下層の管理職、中間管理職をもおさないながら進行している。例えば一九七四年から七九年までに約百万人の労働者が五百人以上の企業で減少している。これ

は実に組織化の側に組織する。

担に組織し、公共から圧倒的多数の労働者をひきはなし、未組織労働者を組織化

し、日本革命の主導を敵

の要塞の攻囲軍として社会

を低賃金・無権利状態の下

に押し込み、これを防ぐ

と同時に、本工の排出分

は多国籍企業等として日本

</div

わが同盟の82春闘方針

二面からつづく

加へ、あるいは「民主化」路線は労働者のブルジョア国家への統合でしかない。われわれは、労働者による経済に対する革命的労働者統制のみが労働者階級の利益にかなつていることを主張

(6)闘争の組織化は、労働者階級が牛耳る労働組合で一般化しているようだ。労働者の闘争をささえつけるた

(7)同時に、資本・政府との闘争は労働者の実力闘争によってしかつかないことを強調し、ストライキなどの方法で要求をも

(8)また党は、このような経済闘争を闘うにあたって次の点に留意し、活動しなければならない。

81春闘賃上げ結果		
調査主体	規模別表示	賃上げ額・率
国民春闘共闘会議	1000人以上 999~300人 299人以下	14099円 7.7% 13777円 7.8% 14093円 7.9%
労働省	主要企業 中小企業(300人未満)	14037円 7.7% 11399円 7.9%*
(特別調査)	30人未満全国平均	5.7%*
日経連	500人以上 300人~500人未満 100人~300人未満 100人未満	13808円 7.5% 12099円 7.8% 11861円 7.7% 11595円 7.5%
東京都	300人以上 100人~299人 100人未満	12246円 7.8% 11422円 7.8% 11381円 7.9%

[注] 数値は※印が算術平均値。その他は加重平均値

パートタイム労働者の賃金とその他の賃金(女子)

調・一体化のための組織化でなく、大衆討議、大衆要求方法を擁護しなければならぬ。そうでなければ闘争は真に労働者大衆の力に転化しない。

(9)同時に、資本・政府との闘争は労働者の信しき与えない団交、団体協約重視の闘争でなく、今日の情勢では、資本・政府との闘争の勝敗は労働者の実力闘争によつてしかつかないことを強調し、ストライキなどの方法で要求をも

(10)また党は、このように経済闘争を闘うにあたって次の点に留意し、活動しなければならない。

(1)工場における、生産と分配に対する労働者統制の準備ぬきに闘争は前進しない。工場における組織労働者下層と未組織労働者の階級統一をかいとり、地域・産別の広範な労働者との共闘をつくりだし、先進的闘いをまず共同でつくりだすことが重要である。

(2)戦争準備・政治反動との闘い

わが党は「安保粉碎・朝鮮連帯」を強調したが、裏をかえせば「賃上げで資本主義を救おう」という

右翼的労戦統一に反対し、階級的労働運動の再生をめざす闘い

官公労、および中小民間単産の労組をめぐる闘争として進んでいる。

労戦の現在、総評の中軸である攻防は現在、総評の中軸である。これは官公労の闘争の焦点としてある。臨調

一歩進んでくることをうながして進んでくることをする。未組織労働者と組織労働者下層の階級的統一は重要なことである。未組織センター、地域合同労組等による未組織労働者の組織化をこの再生のために82春闘の中で

一歩進んでくることをうながして進んでくることをする。未組織労働者と組織労働者下層の階級的統一は重要なことである。未組織センター、地域合同労組等による未組織労働者の組織化をこの再生のために82春闘の中で

一歩進んでくることをうながして進んでくることをする。未組織労働者と組織労働者下層の階級的統一は重要なことである。未組織センター、地域合同労組等による未組織労働者の組織化をこの再生のために82春闘の中で

加へ、あるいは「民主化」路

線は労働者のブルジョア国家への統合でしかない。われわれは、労働者による経済に対する革命的労働者統制のみが労働者階級の利益にかなつていることを主張

(6)闘争の組織化は、労働者階級が牛耳る労働組合で一般化しているようだ。労働者の闘争をささえつけるた

(7)同時に、資本・政府との闘争は労働者の信しき与えない団交、団体協約重視の闘争でなく、今日の情勢では、資本・政府との闘争は労働者の

実力闘争によつてしかつかないことを強調し、ストライキなどの方法で要求をも

(8)また党は、このように経済闘争を闘うにあたって次の点に留意し、活動しなければならない。

(1)工場における、生産と分配に対する労働者統制の準備ぬきに闘争は前進しない。工場における組織労働者下層と未組織労働者の階級統一をかいとり、地域・産別の広範な労働者との共闘をつくりだし、先進的闘いをまず共同でつくりだすことが重要である。

(2)戦争準備・政治反動との闘い

わが党は「安保粉碎・朝鮮連帯」を強調したが、裏をかえせば「賃上げで資本主義を救おう」という

右翼的労戦統一に反対し、階級的労働運動の再生をめざす闘い

官公労、および中小民間単産の労組をめぐる闘争として進んでいる。

労戦の現在、総評の中軸である攻防は現在、総評の中軸である。これは官公労の闘争の焦点としてある。臨調

に闘うだけでは不充分であ

る。

82春闘の中で職場・地域

から「安保粉碎・朝鮮連帯

・改憲阻止」の闘争準備を

つくりだし、これらの闘い

を「八三年政治決戦」での自

由の上では真に人間らしい生活条件はかちとれない。

労働者はあらゆる意味で資本主義的経済制度の基礎の上では真に人間らしい生きることを許されている。

生活条件はかちとれない。

民党政打倒闘争と結び

て闘う。このため、戦争準備を

備内閣である鈴木自民党政打倒を今春闘の闘いの中

でよびかける。

これらは、具体的には二

月リムパック、三月三里塚闘争、五月沖縄闘争として同時にこの活動を通じ、労働者が自分の手で共同して社会の生産と分配を支配する権力を廃し主要な生産手段を社会の所有にかえ、月廣島・東京反核・反安保闘争の大爆発へむけて闘い、これを六月反戦・反

米帝を一掃し、プロレタリア裁樹立の日本社会主義をかかげ、猛烈な組織戦を組織する。

アダムスの独裁権力を打倒し、未組織労働者の獲得に春闘の活性化を利用する。

（1）しかし、賃金のひきあげや労働条件の改善のため

（2）米帝を一掃し、プロレタリア裁樹立の日本社会主義をかかげ、猛烈な組織戦を組織する。

（3）アダムスの独裁権力を打倒し、未組織労働者の獲得に春闘の活性化を利用する。

（4）米帝を一掃し、プロレタリア裁樹立の日本社会主義をかかげ、猛烈な組織戦を組織する。

（5）アダムスの独裁権力を打倒し、未組織労働者の獲得に春闘の活性化を利用する。

右翼労戦統一準備会春闘反対、82春闘勝利をめざす首都圏討論集会

2月27日(土)午後2時から
南都労政会館 主催実行委員会

2/27

2月27日(土)午後2時から
南都労政会館 主催実行委員会

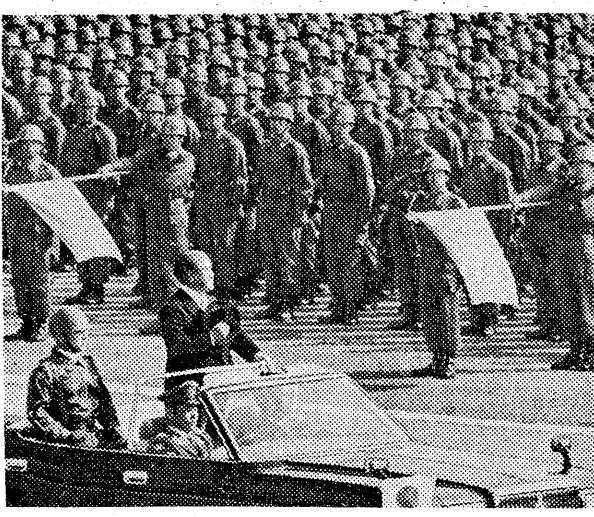
右翼労戦統一準備会春闘反対、82春闘勝利をめざす首都圏討論集会

2月27日(土)午後2時から
南都労政会館 主催実行委員会

2月27日(土)午後2時から
南都労政会館 主催実

解説

83年選挙に焦点



二・十一紀元節を前に政
府・ブルジョアジーの反動攻勢は、いつそう露骨さを保つなどをしてい
る。その一つなどを焦点にした改憲攻撃

に、天皇元首化、自衛隊の國軍化、海外派兵(集團安
保)、権利制限、國家緊急権

主憲法制定は、五五年結党以来の悲願であるが、簡単にふり返つて見れば、同

年、自王憲法期成議員同盟

を結成、現在自民党国会議員の三分の一を占める(五

六年には内閣に憲法調査会

を設立、七年内に同調査会

が憲法改正大綱草案(稻葉

私案)を発表した後、影をひそめたかにみえたものの

七九年六月の元号法制化以降、一気に攻勢に転じた。

八一年一月の第三回党

大会で五年ぶりに改憲問題

をとりあげ、同年十月二二

日には議員同盟が第一次改

憲草案をだし、今年党大会

(二月二一日)でも運動方針

で具体的な改憲の検討を進

める」とし、同様の宣言を探

反動勢力の動向

昨年十月二七日に「日本

守る国民会議」なる団体

が結成された。

結成宣言は、「草の根」運

動憲法改正を「スローガン」に、(1)日本は日本人の

手で守る、(2)教育を日本の

伝統の上にうちたてる、(3)

憲法問題を大胆に検討する

として、「かかる三つの提言

を我々は高く掲げ、来たる

昭和五八年の国政選挙にお

いて日本の将来の歴史的選

択を決すべく、広範な国民

運動を展開する」という。

これは生長の家、神社本

晶化として四七都道府県、

三千市町村で平和と安全を

三市町村で平和と安全を

三千市町村の結成。

八三年度は、以上の積み

『勝共連合など「元号法制

推進する地方議会決議の達

重ねのうえに、(1)県民総決

起大会を開催し、世論を喚

められた極反動団体はおろか、

桜田武(日経連)、斎藤邦(作

曲家)、春日野清隆(日本相

撲協会理事長)、武見太郎(

日本医師会)など、多方面に

晶化として四七都道府県、

三千市町村で平和と安全を

三千市町村の結成。

八三年度は、以上の積み

『勝共連合など「元号法制

推進する地方議会決議の達

重ねのうえに、(1)県民総決

起大会を開催し、世論を喚

められた極反動団体はおろか、

桜田武(日経連)、斎藤邦(作

曲家)、春日野清隆(日本相

撲協会理事長)、武見太郎(

日本医師会)など、多方面に

晶化として四七都道府県、

三千市町村で平和と安全を

三千市町村の結成。

八三年度は、以上の積み

『勝共連合など「元号法制

推進する地方議会決議の達

重ねのうえに、(1)県民総決

起大会を開催し、世論を喚

められた極反動団体はおろか、

桜田武(日経連)、斎藤邦(作

曲家)、春日野清隆(日本相

撲協会理事長)、武見太郎(

日本医師会)など、多方面に

晶化として四七都道府県、

三千市町村で平和と安全を

三千市町村の結成。

八三年度は、以上の積み

『勝共連合など「元号法制

推進する地方議会決議の達

重ねのうえに、(1)県民総決

起大会を開催し、世論を喚

められた極反動団体はおろか、

桜田武(日経連)、斎藤邦(作

曲家)、春日野清隆(日本相

撲協会理事長)、武見太郎(

日本医師会)など、多方面に

晶化として四七都道府県、

三千市町村で平和と安全を

三千市町村の結成。

八三年度は、以上の積み

『勝共連合など「元号法制

推進する地方議会決議の達

重ねのうえに、(1)県民総決

起大会を開催し、世論を喚

められた極反動団体はおろか、

桜田武(日経連)、斎藤邦(作

曲家)、春日野清隆(日本相

撲協会理事長)、武見太郎(

日本医師会)など、多方面に

晶化として四七都道府県、

三千市町村で平和と安全を

三千市町村の結成。

八三年度は、以上の積み

『勝共連合など「元号法制

推進する地方議会決議の達

重ねのうえに、(1)県民総決

起大会を開催し、世論を喚

められた極反動団体はおろか、

桜田武(日経連)、斎藤邦(作

曲家)、春日野清隆(日本相

撲協会理事長)、武見太郎(

日本医師会)など、多方面に

晶化として四七都道府県、

三千市町村で平和と安全を

三千市町村の結成。

八三年度は、以上の積み

『勝共連合など「元号法制

推進する地方議会決議の達

重ねのうえに、(1)県民総決

起大会を開催し、世論を喚

められた極反動団体はおろか、

桜田武(日経連)、斎藤邦(作

曲家)、春日野清隆(日本相

撲協会理事長)、武見太郎(

日本医師会)など、多方面に

晶化として四七都道府県、

三千市町村で平和と安全を

三千市町村の結成。

八三年度は、以上の積み

『勝共連合など「元号法制

推進する地方議会決議の達

重ねのうえに、(1)県民総決

起大会を開催し、世論を喚

められた極反動団体はおろか、

桜田武(日経連)、斎藤邦(作

曲家)、春日野清隆(日本相

撲協会理事長)、武見太郎(

日本医師会)など、多方面に

晶化として四七都道府県、

三千市町村で平和と安全を

三千市町村の結成。

八三年度は、以上の積み

『勝共連合など「元号法制

推進する地方議会決議の達

重ねのうえに、(1)県民総決

起大会を開催し、世論を喚

められた極反動団体はおろか、

桜田武(日経連)、斎藤邦(作

曲家)、春日野清隆(日本相

撲協会理事長)、武見太郎(

日本医師会)など、多方面に

晶化として四七都道府県、

三千市町村で平和と安全を

三千市町村の結成。

八三年度は、以上の積み

『勝共連合など「元号法制

推進する地方議会決議の達

重ねのうえに、(1)県民総決

起大会を開催し、世論を喚

革命的学生運動の創建へ

マルクス・レーニン主義学生同盟(準)

全国の学友に訴える

全ての闘う学友諸君！ 日本学生運動の〈分散と混迷〉に終止符をうち、社会主義をめざす労働運動と固く結びつき、社会主義統一戦線の確固とした一翼を形成する革命的學生運動創建の戦闘司令部が闘いとられた。われわれは、昨秋の共産主義者同盟結成という日本共産主義運動の輝かしい前進、分裂の時代から統合の時代を刻印し社共にかわる単一の革命的労働者党創建にむけた巨大な前進と固く結びついた、学生運動の戦闘司令部マルクス・レーニン主義学生同盟(準)を闘いとった。全ての学友諸君！ マルクス・レーニン主義学生同盟(準)に結集し、日本学生運動の〈分散と混迷〉を真に止揚し「正規の攻団軍」の一翼をになう革命的學生運動創建の闘いに決起せよ！ 日帝打倒・米帝一掃・プロ独立の社会主義革命の勝利にむけ共に進撃しよう！



83年政 治決戦に向けた任務

今日の情勢の基本的な特徴は、戦争と反動攻撃の激化の中で戦争と革命をめぐって、すなわち帝国主義戦争が社会主義革命をめぐる荒々しい分裂が全社會的に進行していることにある。

新たな高揚のはじまり

明らかなように、昨年五月の日米共同声明をもつて新たな段階に入った日米安保体制の再編・強化は、今日日帝をして米帝の指揮と統制のもとに朝鮮にむけた侵略反革命戦争準備と、対ソ正主義の十字砲火の中日米共同作戦態勢の確立、在日米軍と結びついた自衛隊の臨戦化として進行している。

こうした帝国主義の軍事主柱の再編・強化は、極東有事研究で暴露されたよ

とを示している。

七年安保闘争の敗北を明らかにした日米共同声明をもつて新

たな段階に入った日米安保体制の再編・強化は、今日日帝をして米帝の指揮と統制のもとに朝鮮にむけた侵略反革命戦争準備と、対ソ正主義の十字砲火の中日

米共同作戦態勢の確立、在

日米軍と結びついた自衛隊

の臨戦化として進行してい

る。

こうした帝国主義の軍事

主柱の再編・強化は、極

東有事研究で暴露されたよ

とを示している。

七年安保闘争の敗北を

明らかにした日米共同声明をもつて新

たな段階に入った日米安保

体制の再編・強化は、今日

日帝をして米帝の指揮と統

制のもとに朝鮮にむけた侵

略反革命戦争準備と、対ソ

正主義の十字砲火の中日

米共同作戦態勢の確立、在

日米軍と結びついた自衛隊

の臨戦化として進行してい

る。

こうした帝国主義の軍事

主柱の再編・強化は、極

東有事研究で暴露されたよ

とを示している。

七年安保闘争の敗北を

明らかにした日米共同声明をもつて新

たな段階に入った日米安保

体制の再編・強化は、今日

日帝をして米帝の指揮と統

制のもとに朝鮮にむけた侵

略反革命戦争準備と、対ソ

正主義の十字砲火の中日

米共同作戦態勢の確立、在

日米軍と結びついた自衛隊

の臨戦化として進行してい

る。

こうした帝国主義の軍事

主柱の再編・強化は、極

東有事研究で暴露されたよ

とを示している。

七年安保闘争の敗北を

明らかにした日米共同声明をもつて新

たな段階に入った日米安保

体制の再編・強化は、今日

日帝をして米帝の指揮と統

制のもとに朝鮮にむけた侵

略反革命戦争準備と、対ソ

正主義の十字砲火の中日

米共同作戦態勢の確立、在

日米軍と結びついた自衛隊

の臨戦化として進行してい

る。

こうした帝国主義の軍事

主柱の再編・強化は、極

東有事研究で暴露されたよ

とを示している。

七年安保闘争の敗北を

明らかにした日米共同声明をもつて新

たな段階に入った日米安保

体制の再編・強化は、今日

日帝をして米帝の指揮と統

制のもとに朝鮮にむけた侵

略反革命戦争準備と、対ソ

正主義の十字砲火の中日

米共同作戦態勢の確立、在

日米軍と結びついた自衛隊

の臨戦化として進行してい

る。

こうした帝国主義の軍事

主柱の再編・強化は、極

東有事研究で暴露されたよ

とを示している。

七年安保闘争の敗北を

明らかにした日米共同声明をもつて新

たな段階に入った日米安保

体制の再編・強化は、今日

日帝をして米帝の指揮と統

制のもとに朝鮮にむけた侵

略反革命戦争準備と、対ソ

正主義の十字砲火の中日

米共同作戦態勢の確立、在

日米軍と結びついた自衛隊

の臨戦化として進行してい

る。

こうした帝国主義の軍事

主柱の再編・強化は、極

東有事研究で暴露されたよ

とを示している。

七年安保闘争の敗北を

明らかにした日米共同声明をもつて新

たな段階に入った日米安保

体制の再編・強化は、今日

日帝をして米帝の指揮と統

制のもとに朝鮮にむけた侵

略反革命戦争準備と、対ソ

正主義の十字砲火の中日

米共同作戦態勢の確立、在

日米軍と結びついた自衛隊

の臨戦化として進行してい

る。

こうした帝国主義の軍事

主柱の再編・強化は、極

東有事研究で暴露されたよ

とを示している。

七年安保闘争の敗北を

明らかにした日米共同声明をもつて新

たな段階に入った日米安保

体制の再編・強化は、今日

日帝をして米帝の指揮と統

制のもとに朝鮮にむけた侵

略反革命戦争準備と、対ソ

正主義の十字砲火の中日

米共同作戦態勢の確立、在

日米軍と結びついた自衛隊

の臨戦化として進行してい

る。

こうした帝国主義の軍事

主柱の再編・強化は、極

東有事研究で暴露されたよ

とを示している。

七年安保闘争の敗北を

明らかにした日米共同声明をもつて新

たな段階に入った日米安保

体制の再編・強化は、今日

日帝をして米帝の指揮と統

制のもとに朝鮮にむけた侵

略反革命戦争準備と、対ソ

正主義の十字砲火の中日

米共同作戦態勢の確立、在

日米軍と結びついた自衛隊

の臨戦化として進行してい

る。

こうした帝国主義の軍事

主柱の再編・強化は、極

東有事研究で暴露されたよ

とを示している。

七年安保闘争の敗北を

明らかにした日米共同声明をもつて新

たな段階に入った日米安保

体制の再編・強化は、今日

日帝をして米帝の指揮と統

制のもとに朝鮮にむけた侵

略反革命戦争準備と、対ソ

正主義の十字砲火の中日

米共同作戦態勢の確立、在

日米軍と結びついた自衛隊

の臨戦化として進行してい

る。

こうした帝国主義の軍事

主柱の再編・強化は、極